

平成24年度山都町立国民健康保険蘇陽病院改革プランの点検・評価について公表します。

本年度の病院事業は、地域住民の長年の願いでありました病院の新築移転が行われ、病院名も「山都町包括医療センターそよう病院」と改名しました（平成24年11月12日新病院スタート）。診療面では11月より歯科診療所を廃止し本院へ統合しました。また新たに人工透析治療を開始しました。診療科目は「消化器外科」「呼吸器内科」「循環器内科」「歯科」「歯科口腔外科」を追加し14診療科目を標榜しました。小規模ながら充実した診療を提供できるようになりました。収入面における対前年比は、入院収入において入院延患者数320名(△1.95%)減少、一人当たり単価も557円減となり17,019千円(△4.12%)減収となりました。外来医科においては、一人あたりの単価が18円増となり4,628千円(1.84%)の増収となりました。また歯科においても4,545千円(17.6%)増収となりました。入院・外来を合わせた総診療収入額は7,846千円(△1.14%)減収となりました。

支出面における対前年比は、医業費用において29,490千円(3.75%)増、医業外費用において建設工事費用に伴う消費税増により59,410千円(200.77%)増となりました。

医業収益は774,525千円(0.46%増)、医業費用815,873千円(3.75%増)、総収益881,346千円(2.01%増)、総費用929,405千円(10.58%増)、差引き48,059千円の赤字決算となりました。

今後は更なる健全経営に向け努力し、へき地医療拠点病院として二次医療施設として良質な医療を提供します。

### 1. 収支状況

	平成23年度			平成24年度			点 検	評 価
	目標値	実績	達成率	目標値	実績	達成率		
経常収支比率	104.0%	102.8%	98.8%	100.2%	95.9%	95.7%	(経常収益/経常費用)×100 病院が安定した経営を行うための指標であり、総収益と総費用との割合で事業活動の能力を表す指標。 この比率は100%以上であることが望ましく、平成24年度の達成率は95.7%で目標を4.3%下回っている。	経常収支比率に影響する医業外費用において建設工事費用に伴う消費税増により経常収支比率が前年度より減となりました。
医業収支比率	91.8%	98.0%	106.8%	94.6%	94.9%	100.3%	(医業収益/医業費用)×100 医業費用が医業収益によってどの程度賄われているかを示す指標であり、医業活動の能力を表す指標。 この指標は経常収支比率同様100%以上であることが望ましく、平成24年度は0.3%目標値を上回っている。	平成24年度は前年度と比べ歯科診療の統合により、歯科及び医科共に外来患者数は増え、入院患者数は減少しましたが平成24年11月からの人工透析診療開始により目標値を上回ることができました。
病床利用率	89.5%	78.6%	87.8%	80.7%	77.3%	95.8%	(年延入院患者数/年延病床数)×100 病院の施設が有効に活用されているかどうかを判断する指標。 この指標は高い方が望ましく、平成24年度の達成率は95.8%と目標を3.4%下回っている。	8月、9月の入院患者数の減に伴い目標値を下回ってしまいました。病床利用率は収益にかなりの影響を与えるため今後一層利用率の向上に努める事が必要です。
職員給与費比率	72.3%	69.8%	96.5%	71.2%	71.7%	100.7%	(職員給与費/医業収益)×100 病院において職員給与費は最も大きなウェイトを占める医業費用であり、医業収益と人件費の割合で職員数が適正かを判断する指標 この指標は低い方が望ましく、平成24年度の達成率は0.5%上回り、前年度対比では1.9%アップ。	医師、検査技師、看護助手の減少等により前年度に比べ5名減となりましたが、非常勤職員の増員により目標値を達成することができませんでした。
職員数	67人	66人	-1人	68人	61人	-7人		

### 2. 再編・ネットワーク状況

項 目	点 検	評 価
時 期：平成25年度	※平成25年度までに結論を取り纏めることとしています。	地域医療機関との連携を推進するとともに、在宅医療を強化し、医療・介護・福祉・保健との連携を確保し、切れ目のない地域医療を志向する。

### 3. 経営形態の見直しの状況

項 目	点 検	評 価
時 期：平成25年度		※経営形態について検討を継続する。